

中小企業・小規模企業振興推進会議 本年度テーマ設定についての意見照会

No	選択テーマ	理由
1	①既存制度VerUp	実績が示すように、ビジネスニーズ補助金は事業者のニーズに合った制度であると考えている。既存事業の領域から一歩踏みだそうとする経営者に寄り添った、今求められている制度であると考えている。
2	①既存制度VerUp	ビジネスニーズ補助金の予算拡大を望む。新規、既存に関わらず、使い勝手の良い人気の補助金にスポットを当てた取り組みが必要。
3	①既存制度VerUp	需要のあるものに応じていくという観点で、予算上限に達したビジネスニーズ補助金の再度導入することで中小企業者等を支援していく。
4	②支援制度創設	コロナウイルス収束後の経済を予想してそれに見合った政策を検討し、その中で必要な支援を検討する。
5	②支援制度創設	今後、新型コロナウイルス感染症特別貸付の返済がはじまると、業績回復していない企業の倒産が懸念される。
6	②支援制度創設	中小零細企業、個人事業主、特に飲食業、宿泊業やその業界との取引を主力とする事業者を全面支援する仕組みが必要。簡素な資料、事務手続きで受領できる補助金、無利子制度、融資制度等の支援を検討したい。
7	②支援制度創設	コロナ禍でありながらも、多様な地域資源及び観光資源を上手く活用しながら消費行動に結びつけようとする中小企業者等への補助金の創設。
8	③DX化推進	「デジタル変革宣言」の地域・産業の分野において、取組内容の記載はあるが、具体的な推進策までは示されていない。中小・小規模企業はDXの重要性を理解していても資金や人的資源が十分ではない。着実に進めていくためには、助成金の創設等の支援策が必要であると考えている。
9	③DX化推進	DX化により生産性向上や業務効率化を図り、結果として収益性の向上を目指していくことはこれからの企業間競争の上で重要な要素となる。非接触型(リモート)の営業・販売促進・提案ができる部分はシフトして業務効率化を図る。人の手による仕事をデジタル化させることで、労働時間の削減や人材不足を補うこともでき、他の業務に回す時間も増え効率があがる。
10	③DX化推進	鳥田市の将来を考えたときにDX化は避けて通れないのではないか。長期的な展望にたった時にこのテーマが良いのではないか。コロナ対策、高齢化対策にもつながる施策でもあると思う。
11	④事業継続計画(BCP)	長期化するコロナ禍で売上が減少し、労働時間も短くなっている。その結果、従業員の収入が減って退職となることで人材不足となり、生産量の減少にも繋がるという問題に直面している。人材確保と販路拡大が課題である。
12	④事業継続計画(BCP)	BCPの普及率が低いと感じている。経営革新や保険、保証等を含めての支援策が必要ではないか。
13	⑤事業承継	事業承継を含めたM&Aの支援も検討するべき。

【集計】

①既存制度VerUp	3
②支援制度創設	4
③DX化推進	3
④事業継続計画(BCP)	2
⑤事業承継	1
⑥その他	0